



第154号
令和2年2月15日

発行:公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
編集:広報委員会
日野市日野本町2-4-7
Tel:042-581-8171



会員数(人)	
令和元年12月31日	
計	1,708
男性	1,209
女性	499
12月入会者	18
(男16、女2)	
12月退会者	21
(男14、女7)	

リサイクル事務所がJ・COMチャンネルで放映中!

当SSCのリサイクル事務所がJ・COMチャンネルの番組「ひのぶらり道」に登場中です。2月1日から29日までの1カ月間、同事務所の仕事内容や店内の模様などをリポーターが紹介するもので、J・COMの取材申し込みにより実現しました。以下は、事務所にとって格好のPRとなる番組の収録に立ち会った鶴川正直所長(事務局長代理)のリポートです。



「ひのぶらり道(どう)」という番組は、櫻井、清宮(せいみや)、2人の女子アナウンサーが日野のまちをぶらりと散策し、市内の注目スポットやおいしいグルメなどを紹介する番組です。

今回は1月8日(水)に行われたリサイクル事務所の取材について紹介します。

取材当日は、朝からあいにくの



取材を受ける山宮副所長

雨。午前中にリサイクル事務所の外観や店内の様子を撮影し、午後から女子アナリポーター2人による店内ロケの予定となっていました。午前中の撮影は中止となり、雲行きあやしい出足となりました。午後3時前、2人の女子アナがリサイクル事務所に到着。聞けば、本日はこれで3件目の取材とのことでしたが疲れた様子もなく、そ

のころには雨もあがり、待っていたリサイクル事務所のスタッフも一安心。2人は挨拶も早々にリサイクル事務所の展示場や作業場を見て回ります。家具の修理を担当している濱田会員から話を聴き、運び込まれた家具が再生していく流れや、修理後の家具を見て感心していました。また、想像していたよりも品質も良く、品数の多さに驚きの様子です。

一通り取材が終わると、いよいよ撮影本番です。リポーターから一問一答形式により進められていきます。答える岩谷副所長には、カメラを前にして余裕が感じられます。

撮影が順調に進み終盤のカットの際、同じく副所長の山宮さんから、「リサイクル事務所の『紙芝居』を作ってきたので、アナウンサーの二人と一緒に演じて欲しい」というお願いが!まさかのサプライズ!「これまでこの番組を担当してきたが、紙芝居の依頼は初めてです。



櫻井、清宮両アナウンサーとリサイクル事務所スタッフ

しかも手作りとは「とおふたり。しかし、突然のお願いにも快諾していただき、紙芝居をしていただくことに。ぶっつけ本番とはいえ、そこはアナウンサー、感情表現も入り割り当てられた役を見事にこなしていただきました。この紙芝居のカットで撮影は無事終了となりました。取材終了後、リサイクル事務所のスタッフと一緒に記念撮影をし、櫻井、清宮両アナウンサーはリサイクル事務所を後にしました。店内の様子や紙芝居シーンなど、ぜひ番組をチェックしてみてください。

◆ひのぶらり道◆

放送日 2月1日～2月29日
放送時間 8:00～23:30の間に3回から5回放映

配分金の支払日は2面です

令和2年度委員会活動計画出揃う

当SCの各委員会が新年度(令和2年度)に予定している活動計画が1月16日の経営企画会議で報告され、了承されました。以下は活動計画の概要です。

◆総務委員会

- (1) 令和3年春からの民間職場への就業期限導入について、会員説明会、発注者への説明会および規程の改正をおこなう
- (2) 会員証の更新時(3年に1回)に実施する会員研修を検討。センター理念の浸透など研修案を作成
- (3) 会員増強策として新規の会員募集チラシを作成

- (1) 民間の就業応募状況を月次で確認して人気、不人気などの傾向を把握、就業開拓に役立つ
- (2) 新規事業として「家庭向け総合サービス」を計画。職群班などと調整し、全戸配布チラシも作成
- (3) 職場グループ交流会を引き続き実施

◆事業委員会

- (1) 民間の就業応募状況を月次で確認して人気、不人気などの傾向を把握、就業開拓に役立つ
- (2) 新規事業として「家庭向け総合サービス」を計画。職群班などと調整し、全戸配布チラシも作成
- (3) 職場グループ交流会を引き続き実施

- (1) 民間の就業応募状況を月次で確認して人気、不人気などの傾向を把握、就業開拓に役立つ
- (2) 新規事業として「家庭向け総合サービス」を計画。職群班などと調整し、全戸配布チラシも作成
- (3) 職場グループ交流会を引き続き実施

き実施

◆地域委員会

- (1) 地域組織活性化のため、地域班およびブロックが担う役割を再検討。また地域班会議のテーマを提案していく
- (2) 地域社会への貢献として引き続き、清掃活動、小・中学校の「朝のあいさつ運動」、スクールガードボランティア活動への協力などに積極的に取り組む

◆女性委員会

- (1) 女性会員増強策として女性限定入会案内説明会を年4回開催
- (2) 女性の就業意欲を高めることなどを目的に女性委員会便りを年3回発行
- (3) センターPRの一環として、市民や会員を対象にした手作り講習会などを開催。女性会員交流会も引き続き実施

◆安全管理委員会

- (1) 安全管理体制の充実に向け、グループや班への危険予知講習会を実施
- (2) 事故防止のため、安全巡回時の

確認・指導のほかドライバーの安全講習会などに参加

- (3) 会員の健康・体力管理のため、体力測定会を実施
- (4) 安全意識の啓発に向け、ヒヤリ・ハット活動の推進や安全就業基準の自己チェック表を配布

◆広報委員会

就業拡大と会員増強に向け、引き続き対外向け広報の強化に重点的に取り組む

- (1) 当SCをより広く知ってもらうため、新たなPR策を探り、実行していく
- (2) 広報委は3年前に当SCのホームページをリニューアルしたが、その後のニーズを踏まえ、再度の大幅改良に必要な検討を進める
- (3) 会員紙「さわやか」の充実を図るとともに、日野市産業まつりなどへの出展を継続

- (1) 民間の就業応募状況を月次で確認して人気、不人気などの傾向を把握、就業開拓に役立つ
- (2) 新規事業として「家庭向け総合サービス」を計画。職群班などと調整し、全戸配布チラシも作成
- (3) 職場グループ交流会を引き続き実施

「会員相談窓口」は毎月第2、第4木曜日の午後2～4時に設置されます。

相談内容は就業、組織・運営に関する悩み・意見・要望等です。あらかじめ電話で予約してください。正副会長、常務理事が対応します。

理事会 ニュース

★第10回理事会

1月27日

・審議事項Ⅱ正会員の入会(10人承認、2月1日入会7人)、平成31年度予算補正の件
・報告事項Ⅱ令和元年度事業実績(4月～12月)Ⅱ5億3333万4千円(前年度比4.5%増)、同予算執行状況

★経営企画会議

1月16日

議題Ⅱ令和2年度の各委員会活動計画(本号2面の記事参照)、第7次中期計画(令和3～5年度)策定小委員会について、ほか

センタースケジュール

◆朝のあいさつ運動3月2日(月)

◆女性限定入会案内説明会

(3月23日、センター会議室)

共働・共助

配分金の支払日

2月	20日	(木)
3月	19日	(木)
4月	20日	(月)
5月	20日	(水)
6月	19日	(金)
7月	20日	(月)

目立つ「新発想」の班会議

地域防災講話・ボールゲーム遊び

昨年12月から始まった後期地域班会議開催がほぼ終了しました。

後期は統一的なテーマなどが特に設けられていないことから、会議の内容はこれまで飲食付きの懇親会を兼ねたものが大半でした。今回もその基調に変わりはありませんが、一方で、新しい発想や工夫に基づいた会議も目につきました。

その一つは、台風19号による水害リスクが身近にあったことを教訓に、班会議という場を活用して参加者全員で地域防災を学んだ新井・高幡班のケース(本紙153号参照)です。市の防災担当職員による中身の濃い講話を

もとに、日野市民8600人が避難した事例を今後に生かそうという意欲的な取り組みでした。

台風19号による避難については、日野2班の会議でも「避難場所、移動手段などに課題があり、今後は近隣自治会などとの連携が必要」といった

意見が出ました。

また内容は懇親会でも「参加型の親睦を目的に、多彩なボールゲーム遊びやマジックの演技で参加者みんなが大いに盛り上がった高幡台班のケースも、新しい発想による一味違った楽しみ方の一つと言えるものでした。

地域班会議については「相変わらずのマンネリ感」(豊田班)といった指摘が今も少なくありません。

それだけに、今回の二つのケースは新しい発想で班会議の多様で生き生きしたあり方を探っていく貴重な手掛かりになりそうです。



ボールゲームに興じる参加者

職場グループ交流会

△ 小学校事務業務 ▽

小学校事務業務に携わる就業会員の交流会が1月21日に当センター会議室で開かれました。この交流会は事業委員会の今年度の取り組みのひとつである「職場グループ交流会の開催」に基づくものです。目的は、交流会を通じて働きやすい就業の場とするため、これまで幾つかの職場グループを対象に開かれてきました。昨年は小学校の校舎管理、中学校の校舎管理、自転車放置防止に携わる就業会員の交流会が開催されました。

今回は16名(16校)の方々が参加されました(就業会員数は17名)。会は増子事務局長の挨拶に続き、フリートーク形式で行われました。就業者はそれぞれの仕事の内容、やり方の疑問点について活発な意見交換を行いました。その中で他組織からの事業者との業務分担等について悩みがあることがわかり、今後の課題となりそうです。また、就業形態が請負から派遣に変わったことで有給休暇と就業上限日数の関係など就業条件についての質問が目立ちました。

今後も他の職場グループでの開催を進めていく予定です。
(事業委員会)



活発な情報や意見の交換の様子

健康だより

「食事の時にむせませんか？」

加齢によりのだや口周辺の筋肉が衰えて、飲み込む力が弱くなってくる「せき込み」「むせ」がでてきます。それらが日常的になると肺炎をおこしたり、栄養がとれなくなる可能性があります。元気で過ごすためには飲み込む力を維持することが大切です。口の体操をしたり、おしゃべりしたり、歌を歌うのもおすすめです。気になる方は健康課にご相談してください。

(日野市健康課)



製作中の雰囲気も温かい『ふわもこスリッパ』

手編み 『ふわもこスリッパ』講習会 女性委員会から市民へのPR

新年が明けて寒さも本格化した感がある毎日です。こんな時期には足元の暖かいふわもこもこのスリッパはうれしいものです。この時期ならではのタイムリーな企画として、女性委員会主催の一般向け「ふわもこスリッパ」講習会が、1月17日、当センター会議室で開催されました。

事務局の長谷川職員からSCCの

PRと女性限定入会案内説明会の参加呼びかけがあり、16人の参加者は女性委員会の皆さんと和気あいあいの製作のひとときを過

事故

会員事故、計19件に

多発に歯止めかからず

ごしました。きれいでやわらかい「ふわもこ」のスリッパを手にして、なごやかに散会となりました。
(女性委員会)

令和元年度の当SCC会員事故がさらに2件増え、計19件になりました。昨夏に発生した就業中の死亡事故を含め、最悪ペースの事故多発に歯止めがかからない状況です。

新たな2件はいずれも傷害事故で、19件の内訳は傷害13件、賠償6件です。元年度を除いた過去4年間の事故件数は平成29年度の14件が最多で、年度末まで1ヵ月以上残した元年度の19件は突出した数字となっています。

死亡事故を受けて設けられた事故再発防止委員会は昨年末にまとめた報告の中で「体調がすぐれない時は就業しない。体調不良の時に休める体制作りが急務」など4点の事故再発防止策を提言しました(本紙152号参照)。

事故多発は決して他人事ではあ

りません。「安全はすべてに優先する」を会員一人一人が改めて胸にしっかりと刻み、事故防止に向けて自覚的に行動することが何より大事です。

なお、新たな傷害事故2件(1月7日、22日に発生)の概要は3月号に掲載します。

(安全管理委員会)

■安全心得10ヶ条

会員事故防止のため、就業に際しては「安全心得10ヶ条」を常に心にとめましょう。

- (1) 作業は安全第一を心がけること
- (2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること
- (3) 服装・履物は、作業に合った動きやすいものにする
- (4) 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと

■雪の日に備えよう

雪が降る季節です。次の点に注意して事故を防ぎましょう。

- 不要不急の外出は控える
- 必要なものは、事前に準備する
- 外出の時は、時間に余裕を持って行動する
- 滑り止めの付いた靴を履く
- 両手はいつも使えるようにする
- 走ったり、急に止まったりするとは絶対に避ける
- 重心を前にし、いつもより小さな歩幅で足の裏全体を付けて歩く
- 車を運転する時は、スタッドレス、タイヤやチェーン等を装着し、車間距離を空けて低速で走る
- 降雪後は早めに除雪を行う

- (5) 加齢による諸機能の低下を十分に認識し、無理をしないこと
- (6) 作業現場は、常に整理整頓を心がけること
- (7) 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと
- (8) 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること
- (9) 健康には常に注意し、良好な状態で就業すること
- (10) 仕事の前日は、十分睡眠をとるよう心がけること